

恵那南地区中学校開校に向けての説明会議事録

開催日時	令和5年1月20日(金)	午後7時～
開催場所	山岡農村環境改善センター	
出席者	保護者	39名
	その他	5名
説明のため出席した事務局職員等	6名	

開 会 (午後7時)

教育長 挨拶
丸山課長 恵那南地区中学校開校に向けての説明

保護者 スクールバスにするのは良いですが、山岡グラウンドから中学校に上がる道のところは道幅が狭いので、何台もすれ違えないと思います。近くにこども園があるので、こども園のバスにも関わってくると思います。また、山岡地区の子どもたちは自転車や徒歩で通学するとして、たくさんのバスが通ると今より危険になるので、その辺をどう考えているのか聞きたいです。

また、中学校を既存の校舎を使っていく中で増改築していくということは、今いる子供たちが授業を受けながら改築していくということになると思うので、授業をまともに受けられるのか、どういう形で改築をしていって、今の子どもたちがどういう風にできるのかを教えてくださいたいです。

あとは、今の5年生が中学3年生になった時に合併となります。ちょうど受験シーズンですし、いきなり統合となると子どもたちも大変だと思います。中学校の場合は、今時間割を5町一緒にしたり、リモートでやっていると思います。小学校の方もそういう授業を作っていた方がよいのではないかと思います。

教育長 ありがとうございます。まずバスのことでございますけれど、8台から10台移動してきますので、本当に上まで上がっていくのか、少し下から歩いていただくのかということも含めて、1番は安心安全ということで検討していきたいと思っています。安心なことを最優先にして考えていきたいと思っていますので、貴重なご意見ということで、まずはここで伺っておきたいと思っています。授業がどんな風になってくるのか、これは他の串原とか上矢作と違った状況に山岡はなるわけでございます。三郷小学校が、大規模改修を行いました。三郷小学校の例で言いますと、例えば3階を改築をして、子供たちが3階に上がって、次2階をやるというようにして、申し訳ないですけど、子供たちに移動してもらいながらという方法もあります。できる限り、授業の妨げになる工事については、休みにやってもらうとか、長期の休みの間にやっていただくとか、負担を少なくしたいと考えております。他にも、例えばプレハブを立てるといふような方法もあるかと思っています。ここからは、皆様とのご相談なんですけれども、恵那西中学校が大規模改修をやった時には、プレハブを建てると8000万ぐらいかかるので、それならば、もっと工夫をして設備等にその8000万、6000万でも、使えないかということで、恵那西中学校では、プレハブを建てずに、校舎を改修していくという方法を取りました。先ほど申し上げましたが、休みの時に集中的にやるとか子どもたち、特に授業に支障がでないよう配慮していきたいと思っていますので、お願いいたします。

それから、もうすでに小学校の方にも中学校の統合について今から計画を練っていただきたいということをお話しております。まずは、近隣のところからスタートしながら、5校が同じ朝の会を1ヶ月やるとか、授業を交流するとか、いろんな形で初対面で、中学校でお互いが集まるということのないように、時間をかけて、少しずつ増やしていきながら、進めていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

室長 ありがとうございます。そのほかどうでしょうか。せっかくですので、どんなご意見でも構いません。

保護者 そもそもとこなんですけど、今回の統合というのはこの決定事項で1校として進んでいるのか、2校とか3校に統合するという案はなかったのか、地域住民の意見がどのように考えられてるのか。私の周り否定的な意見が多いんですが、この資料だと肯定的な意見も結構多いです。この辺り、どれぐらい把握してるのか。今後、アンケート調査とかをやると書いてあるんですけども、今の段階でやった方がよいと私は思いますが、いかがでしょうか。

教育長 ありがとうございます。まず、アンケート調査をやるというところにつきましては、例えば、制服等どうするかとか、校章をどうするかというような、統合に向けての件について、アンケートを行いたいと考えております。

この検討の中で2校統合とか、そういうことも考えましたけれども、1番の私たちの願いは子どもたちが多様な考えに触れて、色んな経験をしていきながら、社会性等を身につけていける環境を作りたいということです。3校にまとめてもあまり今と大きく変わらないと私たちは判断をしましたので、1校で進めていきます。それから、地域住民の方も色々なご意見があることは、もちろん承知です。けれども、地域と話している中では、1番は保護者の方たちの意見だろう、まずはそこから聞いてほしいということでもございました。今までに地域の方のご意見も聞いて、もちろん反対の意見もございました。ですが、まず、今回は保護者の方たちのお話をということで、今聞いているところでございます。その中で、いただいた意見を十分に検討させていただきながら、前に進めていきたいというのが、私たちの願いでございます。よろしく願いいたします

室長 そのほかどうでしょうか。

保護者 増改築をするという計画で、聞いた話なんで、そこもお伺いしたいんですが、15億ぐらいの費用がかかるという。5年とか10年すると、人がまた減ってしまっていて、使わなくなってしまうんじゃないかと思うんですが。僕は上矢作出身なんですけど、数字を見ると合併せざるを得ない状況というのは重々承知してまして、いずれは人数が増えない限り1校になるのかっていう気もするんですが、今急いで1校にして、15億という費用をかけてやるのであれば、その15億という費用を子どもたちのために使ってもらって、例えば岩村と山岡に合併して、人数が足りなくなったら山岡に1校にするとか、そういった案の方が、子どもたちのためになるのではないのかと考えますが、その辺いかがでしょうか。

教育長 子どもたちのためにという部分でございますけれども、人数が少なくて、本当にダメかって言われますと、人数が少ない学校には、人数が少ない学校の良さがもちろんあるわけですので、教育委員会としましては、それを否定しているわけではございません。けれども、私は以前教員をやっておりましたので、1つの例を挙げさせていただきますと、人間関係作りで考えますと、学年が変わる時に自分が変わりたいと思う生徒っていうのは割といるんです。非常にいい学級ももちろんあるので、その後3年間上がっていったら、素晴らしい学級

になったというのももちろんありますので、学級替えがないとダメということではありません。けれども、多くの場合は、学級替えができて、クラスが変わったところで、リセットして頑張れるというお子さん、たくさんお見えなんです。そうすると2学級よりは国も基準を示している4学級程度あるとよいのではないかということは考えております。

それから、改築に15億かかるということでございます。2校とか3校あって、学校の維持等も含めると、どちらがお金を効率的に使っていただけるかというのは、すごく大きな差が出ると私たちは考えておりません。あとは考え方だと思います。目の前にいる子供たちに、少しでも早く、より良い環境を提供したい。そのためにお金を使わせていただくという考えでおりますので、1校で進みたいということを考えております。

保護者 今、大きな差はないと言われたんですけど、その辺の試算を出されての話でしょうか。

教育長 細かい数字が手元になるので申し訳ないんですけども、改築したらとか、新築したらとか、バス1台いくらかとかという試算は出してあります。今ここでいい加減な数字を示すことは、本当に申し訳ないことでございますので、必要に応じて、金額は示していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それから、やはりお金のこともですね。これから、世の中がどう変わっていくかという。この3年で私たちも驚いているのは、コロナが起きるなんてことは本当に思っていなかったです。それから、私自身は1人1台タブレットを持つなんてこともすごく先かと思っておりました。それから個人的にですけど、この世界の情勢の中で心配してるのは、本当にバスが確保できるのか、もうそれは本当に早くやっついていかないと。スクールバスというのは、すぐに手に入らないんですね。1年、2年ぐらいかかってしまうので、そういうことも考えると、これから先もっともとお金がかかっていく可能性もあります。下がっていく可能性もありますが、やっぱり今できることを、ということで考えておりますので、よろしく願います。

室長 そのほかどうでしょうか。

保護者 孫の面倒を見ている祖父母の立場から聞かせてください。登校、下校の時間というのは大体決まっていますか。1時間以上かかる路線もあると聞きますので、その子供たちが部活を十分にやれる時間あるのか心配です。それからバスを10台くらい用意するということは、現実にドライバーが必要だと思うんですが、その辺のことは、手配できてるのか、あるいはこのバス運行事業をどの会社に委託するとか決まってるのかということを知りたい。今朝の新聞でも、トラックドライバーが不足して、30年には物流の30%以上滞るような状態が発生するという新聞報道もありますので、ドライバーとしてみればトラック運転手は2種はいりませんが、バス運行となると2種免許もいるはずですので、その辺が現実的に心配だと思いました。お聞かせください。

教育長 ありがとうございます。まず登下校のことでございますけれども、多くの学校が8時前後で子供たちが学校に集まってきて、そこから朝の会とか色々ありますけど授業となります。夏場でございますと4時半から5時ぐらいの下校になるのかと。そうすると、1時間かかって6時過ぎになるかもしれませんが、日の入りまでにはお家に帰っていただきたいということを配慮して、各学校、登下校の時間を決めております。部活動のことでございますけれども、今の部活動は、どこの学校もやる時間が本当に少なくなってきております。これはどういうことかと申しますと、中学校では、やるべき授業の時間ってのが決まっております、それが1週間で29コマです。1日6時間やると5日間で30コ

マになるんですが、29コマいるんです。言い替えますと、1日5時間授業という日が1日だけなんです。普通で取りますと。そうすると、その日はなんとか部活動を仕組むことができるんですけども、それ以外の日というのは、なかなか部活動を仕組むことができないというのが、今、どこの学校でも現状となっております。以前は部活動もっとできたんじゃないの。ということですけど、以前は土曜日に授業がありました。土曜日に3時間授業があるということは、普段の日に5時間授業がたくさん作れるということで、割と部活動やるような時間もあったということです。統合して、通学時間が長くなる子もいるから、部活動が他の学校に比べてできなくなるとか、そういうことはあまりないと感じております。

バス等の会社が決まってるかということでございますが、これについては、これからでございます。市長もよく申しておりますが、まずは恵那市の中で担っていただけるようなところがないかと。もちろん恵那市の中でなければ、他市からでもそういう業者等を探していくことになると思います。本当におっしゃる通りで、今日もその話をしました。トラックの運転手が足りないという話の中で、どこの業者さんも、運転手の確保が大変だということを言ってお見えます。今から確保する働きかけを教育委員会としてはしておりますので開校の年までには、10台がきちっと運行できるように努めていきたいと考えております。

保護者 岩村から参加させていただいています。子供が今5年生で、3年生から新しい中学校になると思います。各地区に対してスクールバスが行くと思うんですけど、例えば、それを乗り過ごすことがあった場合に、明知鉄道の利用というのは、全く課題として不要となっておりますが、代替案としては、親の送迎しかなくなってしまうのか、それとも明知鉄道を利用して、自分で行くっていう方法を予備ルートとして検討してもらえるのでしょうか。私も仕事をしてますので、送り出して本人で行ってもらえるというのは結構大事です。スクールバスだと1本なので、乗り過ごすともう行く術がなくなってしまうのは困るなと思うんですけど、どうお考えでしょうか。

教育長 はい、ありがとうございます。その乗り過ごすという時間にもよりますが、例えば1・2分ほどで行ってしまうのかということですけども、スクールバスに乗る子供たちは基本的に事前に掴んでおきますので、乗るはずの子が乗らない時には、割と運転手さんは待ってくださいます。前もって10分20分どうしても間に合わないとか、遅れてしまうということがあれば、それは事前に連絡をいただくということもあります。今言われたように、乗り遅れた場合、鉄道を使うことについては、私たちが想定外というか、思っても見なかった素晴らしいアイデアだと思っております。でも、現実その時間帯に動くのかとかということもあると思いますので、これから考えていきたいと思っております。今1人1台タブレットも持っているということで考えますと、連絡の方法というのも今までよりは便利な部分もあると思います。そこも含めて今みたいなことも想定をしながら考えていきます。本当に貴重なご意見ありがとうございました。よろしく申し上げます。

室長 そのほかいかがでしょうか。
教育長 開校に向けての準備で生徒数と教員数のお話をさせていただいたんですけども、他の地区ではこんな質問も出ました。新しい学校ができた時に、前の中学校に見えた先生方って全然いなくなってしまうのか。どのように新しい学校の先生を決めていくのか。というご質問もありました。そのことをご心配の方が見えたら、お話をさせていただきたいと思っております。5つの学校が1つにな

るならば、できるだけ先生を確保して、手厚くやっていただきたいというご意見も出ました。この20名というのは、学級数が14ということに対して20名教員が配置となります。これは校長先生や教頭先生等が入っていません。学校を統合すると、特別に先生を1人いただけるという制度がございます。ただし2年間ですけど、その間は1人、他の学校より増えるってということです。それから、もう1つ、主幹教諭というのが、全部の学校ではなく、恵那市に2人いまして、これは特別な教員ですけれども、その教員をこの新しい学校に配置したいと考えています。これで2人増えます。それから、この規模になると、例えば、学級を分けて、英語とか教えたいというようなことに対して、1人先生がいただけるというシステムがあります。ただ、必ずいただけるかどうかわかりませんが、そのような工夫をしますと通常の学校よりも、3人とか多くなる可能性もあります。そのように手厚く職員を確保していきたいと考えております。それから、それぞれの学校の先生は全員別の学校に行き、新しい学校には新しい先生を入れるということではございません。岩村からも山岡からも明智からも申原からも上矢作からもどれだけかの先生は新しい学校に行っていたかと考えています。ただ、職員数の違いがありますので、どの学校からも、例えば3人ずつとか、そんな風にはいかないかもしれません。けれども、子どもたちはやっぱり顔見知りの先生がいるとほっとしますし、統合の時にはそんな不安もできるだけ起きないようにという配慮はしていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。スクールカウンセラーも定期的に来ていただける、スクール相談員や心の相談員は毎日いるというような形になるかもしれません。今の恵那西中学校とかと同じ規模、またはそれ以上の教員がいて、学校がスタートできるんじゃないかということを考えております。プラスの情報でございますが、他の地域でもお話をさせていただきましたので、お話をさせていただきまして、よろしくお願ひいたします。

室長

ご意見がまだたくさんあるかと思いますが、この後、地域の方に説明に来させていただきたいと思ひます。今聞けなかったこと、もう少し聞きたいといった場合には、その地域説明会で聞いていただければと考えております。開校令和8年に向けて、教育委員会は全力で進んでいきたいと思ひます。そのためには、保護者の皆様の協力とご意見、子供たちの意見もぜひ聞いていきたいと考えております。恵那南地区の中学校を日本一の学校にしたいと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。それではお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。これで本日閉じたいと思ひます。ありがとうございました。

閉 会（午後8時10分）